

## 動作法東北ネットワークJAPAN 2022宮城大会(オンライン)報告

1 期 日 2022年7月3日(日) オンラインによる開催(ZOOM)

2 主 催 動作法東北ネットワークJAPAN

3 大会長 みやぎ動作療法の会 三好 敏之

4 参加者 約50名の方々に参加していただきました。

5 日 程

9:20 開会行事

9:30 講演『時代の変化に対応する動作法の在り方の探求』

鶴 光代 氏(東京福祉大学大学院 特任教授)

10:50 休憩

11:00 実技指導

12:00 食事休憩

13:00 話題提供①「福島県立平支援学校 教諭 伊藤秀之」 質疑応答

13:25 コメンテーターから 鶴光代 氏、宮崎昭 氏、吉川吉美 氏

13:50 実践発表②「山形県訓練会 トレーニ 水戸 匠」 質疑応答

14:15 コメンテーターから 鶴光代 氏、宮崎昭 氏、吉川吉美 氏

14:40 閉会

6 大会後の感想等から

- 臨床動作法についてのとても良い研修になりました。動作法の理解の難しさについて話題になりましたが、「動作が意図通りの身体運動を実現しようとする主体の心理過程である。」というの理解が、理論からも実体験からもわかることが大切だと思いました。特に、自体で体験的に理解することの難しさを感じます。
- 大学院で学んだのとは違う角度から動作法という大学院で学んだのとは違う角度から動作法というものを学ぶことができ、いろんな気づきが得られました。ありがとうございます。
- 私はまだ動作法について学んでから日が浅いのですが、先生方、それから、トレーニーの方からのお話を受け、これから動作法を学んでいく上で大切にしていけるべきことをたくさん得ることができました。
- オンラインではあったが、具体的なアセスメントの取り方などが学ぶことが出来て非常に良かった。2つの話題提供に関しても、自分自身としても身近に感じる内容であったのでとても勉強になりました。
- 動作法にふれること自体がほとんど初めての体験だったため、初めは『骨盤を動かす』ということがどういことかまったくつかめませんでした。他の参加者の方の動きを見たり、鶴先生のコメントを聞いたりして、自分の身体の動きに集中する、身体の部位に注意を向けるということが体感できたように思います。対面だとまた違った学びができるのだらうと思うので、アフターコロナの時代に向けて、自分も学びを深めていきたいと思います。
- 昨年参加できなかったので久しぶりに刺激的な研修となりました。動作法は本当におもしろいと再認識しました。鶴先生の講演、実技研修共に大変勉強になりました。遠くまで出かへずに自宅にいて研修できるよさも感じましたが、ここ3年新幹線に乗ることもなく、飛行機に乗ることもなく、東北から出ずすごしていたので、大会を名目に日本全国に出かけられたことがなつかしいです。腕を磨くことを続けていきたいと思いますが、対面での研修会に飢えています。東北にも全国にも仲間がいることが動作法のすごさだと感じます。

※ 次年度は、福島県が担当します。大会は2023年7月上旬を予定しております。対面での研修も含めて検討していきたいと考えております。